

## 株式会社・有限会社・個人事業のメリット・デメリット

	法人組織（青色申告）		個人事業								
	株式会社	有限会社	青色申告	白色申告							
経営意識	😊 企業の発展と継続を願うことが、社長の仕事になる										
営業上の信用度	😊 事業を組織化して経営を行うので、営業上の信用度が高い										
企業イメージ	😊 イメージが良く、求人もしやすい										
現金の管理	😊 会社と個人をはっきり区別するので、経理内容が明確になる		事業のお金と個人のお金が混同しやすい	😞 どんぶり勘定になりやすく、税務署による推定課税もある							
経理の明確化	😊 事業の経営成績、財政状態がよくわかり、予測がつく（予算管理・資金繰り）		簡易簿記のため、有用な経理情報となりにくい								
会計帳簿の作成	😞 会計帳簿が複雑になるので記帳が大変		😊 比較的、容易に記帳できる								
金融メリット	😊 銀行からの融資を受けやすい										
経営者の給料	😊 合理的に設定した役員報酬を毎月定額で支給する（個人事業所得と比較して節税につながる）		😞 収入－必要経費＝事業者の所得 事業者の労働の対価と事業の利益が、合算されてしまう								
家族の給料（専従者給与）	😊 労働の対価に見合う分について、世間並の十分な給与がとれる 年間 103 万円以内の場合、配偶者控除・扶養控除を受けることができる		法人組織と同様に専従者給与がとれる ただし、配偶者控除・扶養控除は受けられない	😞 年間一人最高 86 万円だけしかとれない しかも配偶者控除・扶養控除とも受けられない							
経営上の赤字の繰越控除	😊 赤字の金額は 5 年間繰越することができる		😊 赤字の金額は 3 年間繰越することができる	😞 切捨て（繰越できない）							
青色申告による特典	😊 特定設備を取得した場合等の税額控除や耐用年数の短縮の特例がある		😊 青色申告特別控除 5 5 万円が受けられる 税額控除、耐用年数は法人組織と同じ	😞 特典なし							
経費の取扱い	接待費	資本金の額によって、経費とする限度額がある <table border="1"> <tr> <td>資本金 1,000 万円以下</td> <td>4,000,000 円</td> </tr> <tr> <td>1,000～5,000 万円</td> <td>3,000,000 円</td> </tr> <tr> <td>5,000 万円～</td> <td>0 円</td> </tr> </table> 但し、上記限度額の 20% 部分は経費とならない		資本金 1,000 万円以下	4,000,000 円	1,000～5,000 万円	3,000,000 円	5,000 万円～	0 円	😊 業務の遂行上、必要と認められるものについて限度額なし	
	資本金 1,000 万円以下	4,000,000 円									
1,000～5,000 万円	3,000,000 円										
5,000 万円～	0 円										
生命保険料	😊 法人を契約者、受取人とするにより生命保険料を経費にできる（保険の種類により資産となるものもある）		😞 必要経費にはならない								
会計事務所のコスト	経営助言を綿密に受けられるので、一般的には個人事業よりも高い		法人組織とくらべると一般的に安い								
経営者の任期及び登記	商法の規定により、取締役 2 年、監査役 3 年ごとに改選登記が必要	取締役、監査役の変更があった場合、登記が必要となる	特になし								